

# Inbound脅威を90%まで削減

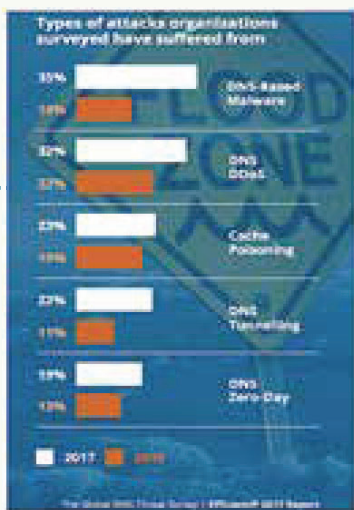
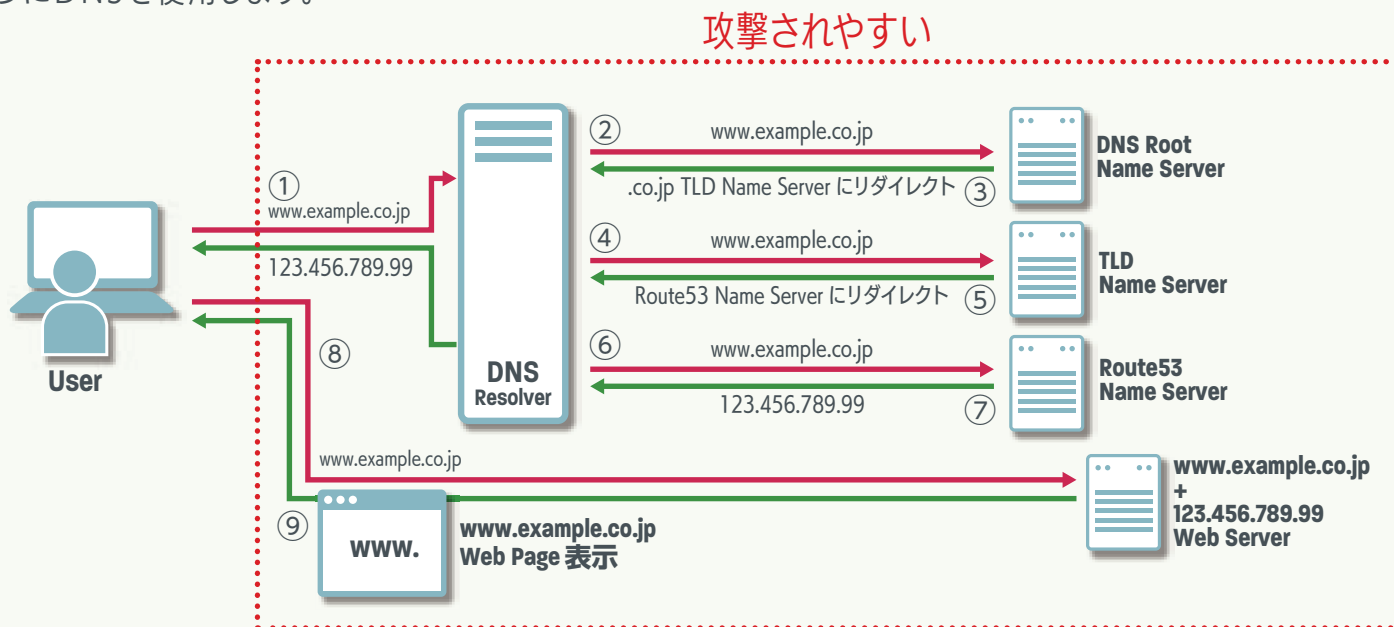
## WEBROOT® DNSプロテクション

ウェブルートは、膨大な脅威データと最新の情報収集により、高度なセキュリティ品質を実現しています。

### DNS (Domain Name System) とは

- インターネット上で使われる電話帳として利用されます。
- 全てのウェブサイトの住所は特定のIPアドレスで構成されていますが、数字のみでは不便のため、文字列を使用したアドレスを持てるようにDNSを使用します。

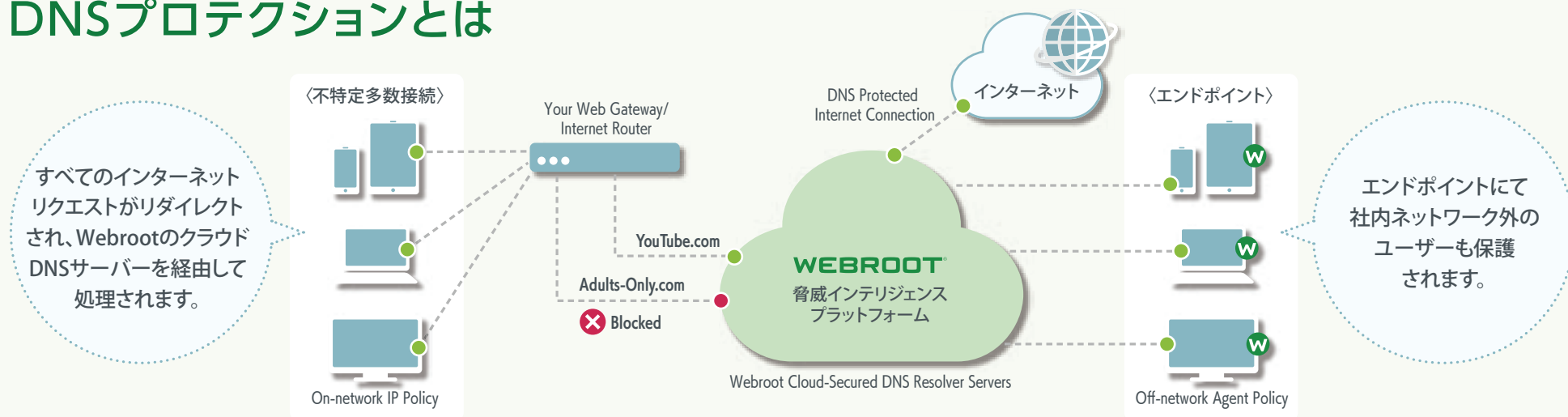
例: URLがwww.example.co.jpの場合、  
実際のIPアドレスは「123.456.789.99」ですが、DNSを使用することで数字のみのIPアドレスを「www.example.co.jp」という文字に変換しています。



#### 《DNSの脅威レポート》

- ネットワーク関連脅威の76%がDNSを利用した攻撃です。
- ネットワークは以下の方法で脅威を受けています。  
Ransomware (ランサムウェア) / Phishing (フィッシング) / Botnet Command & Control (C&C) / Advanced Persistent Threat (APTs) / Drive-by-Downloads
- 多くの環境でポート80と443が解放されています。

### DNSプロテクションとは



#### 【特徴／効果】

- ハードウェア不要、ソフトウェアの別途インストールも不要
- ドメイン段階においてマルウェアの脅威とWeb使用のリスクをブロック
- IP/動的 IP/IPレンジのポリシー、およびリモートユーザーのグローバルエージェントポリシー
- オンデマンドのドリルダウンレポート
- 業界をリードする BrightCloud Webクラシフィケーションサービスを搭載

- ◎DNS接続を通じて脅威を防衛
- ◎リスクが高いサイトを低遅延でフィルタリング
- ◎Webアクセス・利用状況モニタリング
- ◎安全なWebアクセスを実現
- ◎不正アクセスを防ぐことで生産性向上
- ◎システムの感染を効率よく防ぎ、復帰費用を削減

## DNSプロテクションの2レイヤプロテクション

### ネットワーク管理の場合

- 社内ネットワークをすべてDNSで保護することが可能
- 特に来客時などに便利
- IP単位でしかレポートできないため、BI精度が落ちる

### クライアント管理の場合

- 外部のネットワーク使用時もDNSプロテクションが有効
- GSMからライセンスに合わせて有効化後、Webroot Secure Anywhereエージェントにて管理
- エージェントのシート数が一致するので管理しやすい
- エージェント単位で管理できるのでBI精度が高い
- エージェントと同様にグループ管理ができる

ネットワーク全体を管理するには**ネットワーク管理**、  
エンドユーザーのグループ管理が必要な場合は**クライアント管理**が有効。

**WEBROOTは両方使用を推奨!**

## DNSプロテクション導入効果

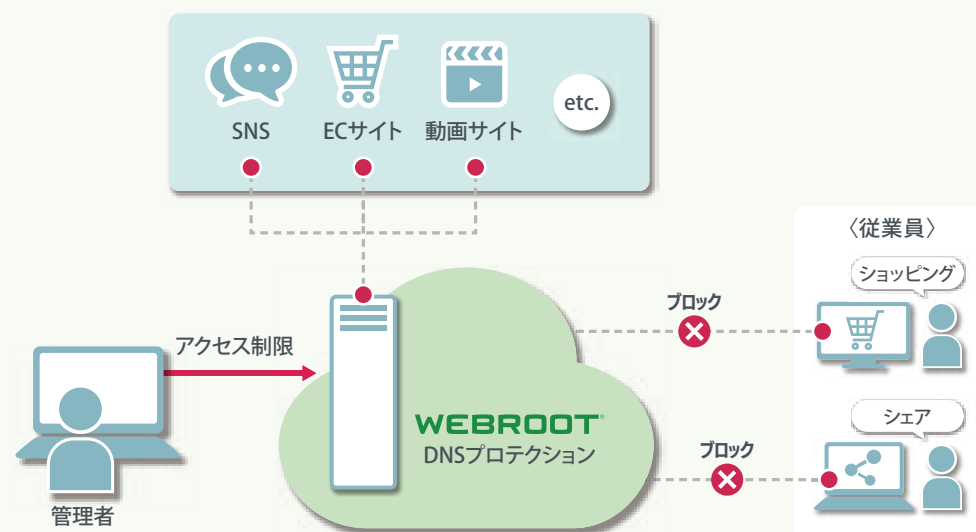
管理者設定にて、従業員による業務に関連しないWebアクセスを防ぎ、業務に集中できる環境を提供します。

- 80項目以上のカテゴリに分類され、より細かいポリシー設定が可能
- ユーザーアクティビティをレポート化が可能
- グループ、個々、外出ユーザー等、フレックスなポリシー設定が可能
- コンテンツとネットワークを管理可能

セキュリティ

生産性向上

コンプライアンス



## レポート機能

強力なレポートツールにより、管理者は端末レベルで報告を受け、管理することが容易に行えます。

- フレックスなドリルダウンレポートツール
- 端末・ユーザー管理のビジュアル化
- Unity APIを利用した脅威報告
- Excelプラグインを利用したレポート

